

会 議 録

会議の名称	令和4年度第6回多摩市地域福祉計画推進市民委員会
開催日時	令和5年1月31日(火) 18:00~20:30
開催場所	多摩市役所 第1・第2会議室
正副委員長	宮城孝委員長 室田信一副委員長
出席者 (敬称略)	宮城孝 小山貞子 千葉胤昌 荒井永理 安藤弘喜 川辺一成 近藤浩 澤昌秀 松井徳孝
欠席者 (敬称略)	室田信一
事務局	小野澤(健康福祉部長) 松崎(福祉総務課長) 川添(福祉総務課担当係長) 海老澤(福祉総務課主事) 岩坪、大塚(株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所)
議題	(1) 出欠・資料確認 (2) 多摩市地域福祉計画の原案について ①パブリックコメントの実施結果について ②前回の各委員会を踏まえた修正点、今後の修正点について ③概要版の確認について (3) 多摩市再犯防止推進計画について (4) その他 ①今後の流れについて ②その他 (5) 閉会
配布資料	(議事録内に記載)

(会議の経過)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 等
委 員 長	<p>(1) 出欠・資料確認</p> <p>第6回多摩市地域福祉計画推進市民委員会を開催します。1年余り協議してきましたが、今回が最後の協議になります。最後に委員の皆さまから今後の期待等を含めて一言ずつ発言を頂ければと思います。</p> <p>前回からの修正点、パブリックコメントを踏まえた修正点について協議します。それでは、多摩市地域福祉計画原案の修正点について事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>(2) 多摩市地域福祉計画の原案について</p> <p>①パブリックコメントの実施結果について (資料5-1「パブリックコメントの実施結果について」を説明)</p>
委 員 長	<p>民生委員の欠員が、高齢化していることを心配されていることが表れていると思います。東京都中野区では、管理組合の推薦だけではなく、行政が関与して地域内での公募や、PTA出身者やボランティア団体のリーダーなど、今回の一斉改選で工夫をしているようです。多摩市でも管理組合の会長だけの推薦では今後厳しいと思います。その辺はいかがですか。</p>
委 員	<p>民生委員の中でも第1～4まであり、今回新しい民生委員についてはまちづくりの関係で何名か推薦しています。年齢も若くなってきており、足を運んで声かけしてほしいと考えております。欠員が多いところが気になっています。</p>
委 員	<p>難しい問題です。私は途中から多摩市に住んでいますが、当初は地域から「よそ者」扱いされていました。地域には今でも新しく入った人に対して、そのような感覚が残っていることがあります。このことは、地域活動をする際の大きなポイントです。</p> <p>そのため、昔から住んでいる人の意識改革が必要です。地元中心のため、細かな活動につなげていけない部分で苦勞しています。市の昔からの流れが気になりますが、自治会活動は非常に変わってきていますので、その延長線上で新しい民生委員につなげる部分を探しているところです。</p>
委 員 長	<p>高齢者の増加は市の課題になっていきます。民生委員には市にずっと住んでいる人でなくても、問題意識がある活動に熱心な人に就いてもらい、社会福祉協議会も含めてフォローアップしていく必要があります。</p> <p>都内のどこの自治体も苦勞し、工夫しています。心配されるのは独居高齢者が多い所で民生委員が欠員になることであり、次のなり手を探すのが大変です。パブリックコメントにもそういう不安が反映されていると思いますので、行政と社協は連携してフォローアップしていただきたいと思います。</p>

(会議の経過)

	それらも踏まえ、計画原案の修正について事務局から説明をお願いします。
事務局	②前回の各委員会を踏まえた修正点、今後の修正点について (資料2「多摩市地域福祉計画(原案)、資料4「修正箇所一覧」について説明)
委員長	委員会としては最後になります。お気づき、疑問のところはありませんか。
委員	「健幸マーク」を付けた理由は何でしょうか。マークを見て、付けられた意図が分かる必要があります。
事務局	これまで第1、第2と「健幸まちづくり」施策の柱を視覚的に示してきましたが、施策と関連すると分かるようにマークを付けています。「関連するところにマークを付けている」との説明文を付けたいと思います。
委員	私も同感です。文字を並べるよりも、枠を大きくしたり、網掛けにするなどして、分かりやすく強調するデザインにしてはいかがでしょうか。「健幸マーク」そのものも初めてみる人には分かりづらいため、「第5章の見方」のところでアピールしてはどうでしょうか。
事務局	マークを付けた理由の一文の追加に合わせ、枠線の強調など、該当する、しないものが分かるように修正したいと思います。 初めて見る人には分かりづらいと思いますので、60ページに「第5章の見方」にマークの説明を入れたいと思います。
委員	SDGsについても、該当するところだけをまとめて書いたほうが分かりやすい気がします。
委員	78ページの「地域福祉推進委員会の構成イメージ」の図にある「青少協・PTA」の部分について、「青少協」を独立させ、「PTA」を「学校関係」のくくりに入れたほうが市の所管関係から見た場合すっきりすると思います。保護者や地域という考え方で「青少協・PTA」としたのであれば、このままで結構です。
委員	このイメージ図で、「介護保険事業所」と「福祉施設の高齢・障がい・児童」の高齢者関係がだぶっています。高齢の福祉施設は、介護保険施設に当たるといいますので、2回出ていることになります。子ども食堂など学童が出ていたほうが、表記するのであれば正しいと思います。
事務局	このイメージ図は社協から頂いたため、確認します。
委員長	99ページの住まいの支援について、町田市のUR山崎団地は高層階を中心に30%

(会議の経過)

	<p>が空き室です。都営住宅に関して東京都も施策をずいぶん変えています。児童養護施設の利用児童は施設を出てからの住宅問題が大変なため、都は足立区と協定を結び、都営住宅の空き室を提供しています。</p> <p>多摩市内にも都営住宅もURも多くあります。経済的に困窮すると住宅に困り、安価な住宅供給が施策的に重要になってきます。市は住宅施策を都市計画だけに任せず、低所得者ら住宅確保要配慮者に対し、もう一段踏み込んだ施策を都やURと連携して進めてほしいと思います。</p> <p>計画では、施策に「重層的な支援体制づくりの推進」が打ち出され、2024年度から事業着手の予定も記されています。しかし、84ページにある支援推進策には、肝心の福祉総務課が書かれてありません。所管は同課であり、一番上に福祉総務課と書いたほうがいいと思います。</p> <p>大事なのは複合的な課題です。「8050問題」や高齢者と障がい者、引きこもりの人が絡むような問題を関係部署が集まり、共通シートを作成して重層的な支援会議を行うことが必要です。包括的な相談のポイントはここにあります。本人の同意なしにできて、アウトリーチにつながります。こうした重層的な支援会議を進行管理し、それ以外の事業をマネジメントするのであれば、福祉総務課の機能が2024年度以降大事になります。これを書かないと、今回の計画で非常に大事な点が抜け落ちてしまうこととなりますので、事業推進へ向けて福祉総務課の役割を明示したほうがいいと思います。</p>
事務局	<p>計画には具体的な相談支援の整備は書いていませんが、86ページのコラムに「多摩市版地域包括ケアネットワーク連絡会」について記載し、18ページの「多摩市版地域包括ケアシステム」とひもづく形で掲載しています。市としては、令和6年度から実施で、あえて掲載していませんでしたが考えたいと思います。</p>
委員長	<p>重層的支援体制整備事業に手挙げをするという明確な意思決定が必要だと思います。「重層」という言葉が書けないのであれば、包括的な支援体制でもいいと思いますが、各部署の取りまとめ機能がなければ従来と同じになります。包括的な相談支援は複合的にまたがりますから調整機能が大事になります。</p>
事務局	<p>各分野で対応できないはざまの事例を重層的支援体制整備で対応していく流れになります。市は、国の重層的支援体制整備づくりに先駆けて多摩市版地域包括ケアシステムの中で相談システムを実施していますので、書き込みとしては相談システムのことを書きつつ、重層的支援体制整備事業を推進することになりますが、検討します。</p>
委員長	<p>包括的な相談支援が書いてありながら、マネジメント部署が書かれていないのは、他の部署から見て違和感があると思います。</p> <p>すきま問題だけではなく、複合的な課題が扱われます。これまでは児童、障がい、高齢者を見ていますが、家族全体を見てマネジメントを行い、協力関係をつくると</p>

(会議の経過)

	ということです。簡単なことではないので丁寧に進め、研究していただきたいと思います。
委員	7ページに「一般社団法人 多摩南部成年後見センター」についてのコラムがありますが、法人後見を行っていますか。
事務局	行っています。
委員長	市民後見人は社協ですか。
委員	市民後見人は成年後見の利用支援事業という形で育成しています。研修関係は南部後見センターで市民後見人を育成していますので、そちらの研修を受けてもらいます。
委員	会社で移動販売を展開していますが、移動販売にすら行けない買い物困難者がいます。買い物困難なのか不便なのか、言葉によって対応は変わるとは思います。千葉、茨城県は買い物困難の助成金を創設し市に配分しているそうです。普段の生活の中で困っている人を救う意識を持っていただき、見守りも含めて移動販売みたいなものが貢献できるのではないかと思います。困窮者支援についても、買い物不便だけを解消するのではなく、コミュニティの問題として市でも活用していただきたいと思います。
委員長	多摩市で進む高齢化対策として、坂道やエレベーターのない集合住宅の多さを考えると、移動販売も含めた買い物支援は大事です。
委員	99 ページで市道路交通課が地域密着型交通について書かれていますが、交通の問題ではないと思います。これだけバスが運行している地域はありません。しかし、建物の上層階から下りるのが大変だったりします。歩車分離の道路に簡易な昇降機を設置したりすれば、住みやすい町になるかもしれません。町の機能を考える視点、交通のどこにネックがあるのかという姿勢で課題を見ると、違った解決方法で解消するかもしれません。
委員長	買い物の問題が町田市でも議論になり、かなり詳しい調査をしています。高齢者だけの問題とも言い切れず、どの部署がやるのかがいいか考えたりしています。
委員	多摩市には様々な業者がいて、食べ物が手に入らないことはありません。家に食料がなくなれば、買い物をして届けるとなるとハードルは高くなりますが、注文書に記入するだけのことなら簡単です。どのレベルで福祉を維持するのか。人に買い物行動を最後までさせるのか。食料は業者に運んでもらうことはできるので、注文システムを整えることが必要だと思います。

(会議の経過)

委員	コンビニに配達してもらっている高齢者もいます。届けた際に応答がなかったの で、戸を開けてみたら住人が倒れていたことが分かり、民生委員に連絡が入ったケ ースもあります。
委員長	生活支援コーディネーターは地域包括支援センターですか。
委員	第2層は社協で行っています。
委員長	買い物は社協の事業としてある程度できますね。 以前から言っていることですが、独居高齢者が多摩市は最も多く、今後も増えて いきます。買い物に苦勞している一人暮らしの高齢者は多いと思います。来年、介護 保険事業計画などが改定されますから、独居高齢者について緊急連絡先や主治医、 民生委員、買い物状況などをはじめ、リスク度をデータベース化するシステムをつ くる必要があります。 買い物が困難な人に対しては個別的にどうするか。配達システムや業者などをシ ステム化することも必要です。身寄りのない人もいますので、計画では見守りのネ ットワークになりますが、リスクが高い人を早期に発見する仕組みをぜひ整えてほ しいと思います。独居高齢者の命、安心を守るには相当なことを行う必要がありま す。こうした取り組みは全国でもまだ例がありません。多摩市にはぜひ考えてほし いと思います。
委員	「目標指標」について、4月1日現在で出すのですか。83 ページでは、公民館講 座の開催数は8月31日現在で3事業と出ています。その上では、4月1日現在での 「民生委員・児童委員数」の記載があり、どのような形がいいのか疑問です。 中点の使い方にばらつきがあり、気になります。61 ページの「現状と課題」の項 では、「〇町会・自治会」は分かれますが、自治会と住宅管理組合の間にある「・」 は違うように思います。並列は分かれますが、各施策を紹介した文頭に「・」が付い ているため、文中に「・」が入ってくると、別段落になるものかどうか、使い方に分 かりにくさが気になります。 先ほどの修正箇所について「性自認」の説明がありましたが、98 ページの「目標 指標」の4段目では、「性自認」のままになっています。
事務局	これは意識啓発事業という事業名称ですから、これでいいと思います。
委員	85 ページ、「②アウトリーチよる課題」の高齢支援課のところ「地域包括支援セ ンターや高齢者見守り相談窓口、」と読点になっています。第2層生活支援コーデ ィネーターでは、かっこで地域福祉コーディネーターと囲ってありますが、86 ページ では、「高齢者見守り相談窓口・」と中点になっています。また「第2層生活支援コ ーディネーターと連携し、」とありますが、地域福祉コーディネーターはかっこでく

(会議の経過)

事務局	くって記載しなくていいのですか。全体も含めて見直しをお願いします。
事務局	表記については、「健幸マーク」も含め、委員の意見も踏まえ文言の最終的チェックをしたいと思います。社会福祉協議会でも地域福祉活動計画を策定中ですので、市との間で表記のずれもないようにすり合わせも行い、中点や句読点の使い方などもチェックしていきます。 民生委員に関しては、現行の表記は4月1日時点ですが、一斉改選により人数変動も考えられるので、「12月1日時点」に合わせた人数表記にしていきたいと思います。目標指標「112名」の理由は、改選に関係なく、多摩市の定員によるものです。
委員長	目標指数にある現状数値は、2022年度のところが難しいです。2022年度に関しては、なるべく直近の数字になるように検討してください。 それでは、概要版の確認について事務局の説明をお願いします。
事務局	③概要版の確認について (資料3「多摩市地域福祉計画(概要版)」の説明)
委員長	概要版についてはいかがでしょうか。
委員	6ページの「(再犯防止推進計画関連)」をカッコ書きしているのは何か意図があるのですか。
事務局	これから修正します。
委員	概要版は販売するのですか。
事務局	令和2年度版も計画本体は有料で配布していますが、これから検討します。
委員長	ホームページに掲載すればいいので、売らないほうがいいと思います。 それでは、(3)多摩市再犯防止推進計画について事務局から説明をお願いします。
事務局	(3)多摩市再犯防止推進計画について (資料7「多摩市再犯防止推進計画について」、資料8「多摩市再犯防止推進計画」、資料9「多摩市再犯防止推進計画(概要版)」、資料10「再犯防止推進計画 日野・多摩・稲城3市共通理念」、資料11「多摩市再犯防止推進計画 進捗状況調査票まとめ」について説明)
委員長	現在刑務所に収容されている高齢者と知的障がい者が非常に多く、地域に帰ってきたときの生活支援が課題になっています。生活に困って犯罪に走るケースがあるため、予防的な機能を高める目的で理解すればいいと思います。防犯にもつながり

(会議の経過)

委員	ます。 再犯の理由は計画の6ページに簡単に書いてありますが、この認識では何も始まらず、生活に困っても罪を犯さない人もいます。それを考えると心の問題を取り上げないといけないと思います。また、支援についても、働いて苦勞するであれば福祉に頼ろうとするケースもあるのではないのでしょうか。そういう意識を変える施策を国が行った上で地域に戻すのであればいいですが、その対応や教育がないままだと無理なところがあると思います。
委員長	意見は一般市民の認識だと思います。
委員	罪を犯した人でなくても、雇用しても続かない人はいます。仕事が合わないと言って会社を辞めて、「仕事がない」と騒いでいるのを見ていると、苦しくて当たり前なのにと、取り組みには疑問に感じることもあります。
事務局	入り口部分で感じる率直な印象はおっしゃる通りだと思います。市広報誌でも、罪を犯した2人に1人が再犯の状況にあることを紹介し、地域の支援の状況を伝えています。要となっている保護司26人の他に更生保護女性会など支援に携わっている状況を知ってもらい、活動への協力を呼び掛けています。犯罪内容としては窃盗などが多く、不安や精神障がいなど、成育過程で困難を抱えていたために犯罪を繰り返すというデータもありますので、まずは地域で理解を深め身近な相談役をつくっていくことなどを訴えています。
委員長	国は福祉との連携を言っていますが、システムが弱いと思っています。刑務所などから地域に戻ってきた人の情報は自治体には届かないと思います。これがまず間違っています。それでいて計画策定や地域の理解・協力を求めるのは甘く、保護司も不足しており無理だと思います。 アメリカのNPOは、ICTの訓練を行い、企業と連携して雇用までの更生プロセスの仕組みをつくり地域に出しています。日本にも類似のことを行っている社会福祉法人はありますが、行政が支援することが必要です。凶悪犯罪が起こっている中で、ただ一般市民に理解してくださいというのは気楽なことだと思います。
事務局	地方自治体にとってあまりなじみのない問題であり、データもない中での話のため経過もつかみにくいところがあります。国として全体的に見直しが必要な部分と思っています。 とはいえ、市としてできるところを考えると、どこにターゲットを絞って取り組みをしていくのか、保護司の皆さんと話しながらか進めているところです。国の調査結果で、刑期を満了し刑務所を出てくる人の7割が精神的、身体上の配慮が必要な人というデータもあります。果たして地域に出てくる出口部分の対応だけでいいのか疑問が残ります。根本的に早い段階での支援をしていかなければいけないのでは

(会議の経過)

	<p>ないかと考えると、福祉上での支援が重要になります。その辺を模索しながら進めているのが現状です。</p>
委員 長	<p>警察と連携し、万引きなど軽犯罪のデータなどの実態を調べ、様々な事業者、専門家と連携していけば防止できるのではないかと考えます。そのような地道な作業が必要です。</p> <p>刑務所には3食あるわけですから、入れば命は助かります。そこまで追い込まれている人もいれば、そうではなく背景にギャンブルや麻薬など精神的な病気を抱えている人もいます。再犯防止への取り組みが重要なのは間違いありませんが、効果を出すにはその辺の実態を踏まえて行っていく必要があります。</p>
委員	<p>再犯に関するスペシャリストが必要だと思います。福祉にからむ問題ではありますが、再犯の人が急に来ても。福祉を求める人たちへの対応で手いっぱい現状があるからです。再犯についてコーディネートしてもらったり、スーパーバイザーのようなものの構築ができれば解決へのスピードが上がると思います。また、その人がどのようなことに困っているのか分類できず、適切に対応できない可能性があります。個々のケースに対応できるシステムがあればいいと思います。警察からの情報は恐らくないと思います。問題を起こした人の事情が分からない以上、安全性に関するところも市民感覚からは心配です。警察OBはどうしても警察視点になりがちです。その辺がうまく絡み合う職種がありません。</p>
委員 長	<p>法務省や刑務所にもソーシャルワーカーを置いて、言われたような専門的なところが少しずつ整ってきています。多摩市ではその辺ができていないでしょうから、研修を行うといいと思います。</p>
委員	<p>行政の担当部署はどこでしょうか。</p>
委員 長	<p>福祉です。まさにはざまの部分となります。福祉の対象者で、そういう人たちが多くいるわけです。法務省が「やってくれ」と言う背景は、そこにあります。自治体の中にそういうコーディネートできる人材がいないと、保護司も育ちません。</p>
事務局	<p>多摩市くらいの規模で単独で進めるのは難しいのが現状です。保護司と協力しながら進めていくしかない状況です。</p>
委員	<p>資料の作り方について、再犯防止といいながら、高齢者や障害者など様々な人を見ていく話になっているため。どれが再犯防止に貢献しているのか分かるように印を付けてもらったほうがいいと思います。資料内容が広範で、具体的にこの部分は犯罪者につながるるところというところを意識させる工夫があればと思います。</p>
事務局	<p>再犯防止に関しては取り組みが始まったばかりで、具体的な事業も多摩市だけで</p>

(会議の経過)

	<p>行っていくのは難しいと思っています。日野、稲城市と3市で協力し、また保護司らの意見を聞きながら取り組みを進めていきたいと思っています。この施策が再犯防止に直接的に役に立っているとの判断は難しいと思いますが、データとして見えてくるものもあると思いますので、勉強して皆さんにより分かりやすく伝えるようにしたいと思っています。</p>
委員長	<p>3市はどこですか。</p>
事務局	<p>多摩市、稲城市、日野市です。</p>
委員長	<p>この3市に矯正施設はありますか。狛江市には女子の矯正施設があります。</p>
事務局	<p>3市にはありません。</p>
委員長	<p>仕事、住居、医療、介護など生活の基盤を整えることですから、生活保護のほうに聞けば、事例や関係する人が見えてくるのではないのでしょうか。3市とありますが、それぞれがやれるか気になるところです。サポートステーションなど、多摩市なりの肉付けが必要になると思います。保護司におんぶにだっこでは、保護司の担い手が少なくなり、負のスパイラルに陥ると思います。再犯防止推進計画は射程の広がりが大きく大変ですが、この辺りも含め興味・関心を持っていただくことも大切です。</p> <p>今後の予定について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(4) その他 ①今後の流れについて 市民委員会は今回が最後になり、今後庁内の委員会での決定プロセスを経て、2月末に市地域福祉計画原案を策定し、3月下旬に完成予定です。 本日の出された修正意見等は事務局への対応一任をお願いします。 本委員会の正副委員長、社会福祉協議会会長らで地域福祉計画などについて対談を行い、3月上旬にYou Tubeにアップロードする予定です。</p>
委員長	<p>本日の意見は文言も含めさらに精査するということです。 本日が最後の委員会です。感想や期待も含め、各委員には一言ずつ発言を頂きたいと思っています。</p>
委員	<p>昨年12月16日に初めて出席し、よく分からないまま皆さんの意見を伺い、私もやっていかなければいけないと思いながら、手につかないのが現状です。引き続き何か機会があれば自分なりの意見をとっています。</p>
委員	<p>市自治連合会を中心に活動していますが、社会福祉協議会の評議員も務めていま</p>

(会議の経過)

委員	す。そのため連動する部分が多く、本日のような会議も含めて皆さんとともに作り上げていきたいと思っています。
委員	いろいろな勉強ができて良かったと思います。社会福祉といっても介護保険は分かっていますが、他との連携や市の部署についても初めて分かってきました。しかし、一般の人は知らないことが多いと思いますので、概要版は皆さんに薦めて、アクセスの機会を増やしたほうがいいと思います。
委員	末端で活動している地域福祉推進員としては、地域密着の活動は大変と感じる一方、地域で出てくる問題に対して、計画に見られる基本的な考え方を踏襲しながら実際の活動に結びつけたいと思います。大変参考になりました。
委員	老人クラブの立場からは、高齢者はこれだけ幅広い視点・観点からカバーされている、保護を受けていることがよく分かりました。個々の高齢者はそのことを感じていないところもあると思いますが、いろいろ検討していただき、見守っていただき感謝しています。
委員	地域福祉計画は幅が広く、担っている福祉分野には多くの内容があり、私自身も勉強になりました。社協でも地域福祉活動計画を策定中ですが、「健幸まちづくり」を目指しながら、市の地域福祉計画と連携しながらより良い地域福祉をつくっていききたいと思っています。
委員	6年前、市中学校 PTA 聯合会の会長を務めているときに参加しました。私自身は子どもや自治会に関わる場所があって、議論された内容に共感を持つことができました。こういう場で意見を述べさせていただき、何かの役に立てれば幸いです。今回勉強したことを地域にも生かしていきたいと思っています。
委員	商工関係の視点から皆さんと立ち位置が違っていたと思います。企業も CSR や社会貢献などがありますが、コロナを経験し利益がなくなってくると、余裕があるときと違って考えていられない状況を感じていました。地域の中で生きている身として意見を述べさせていただきましたが、「福祉」と大きく構えず、住みやすい地域を目指して、企業ならではの目線で携わることができ、勉強になりました。
	(5) 閉会
委員長	皆さんのご協力を頂き、ありがとうございました。日本最大のニュータウンの地域であり、高齢化率がさらに高くなっていく中、どういう課題があるのか、多摩市にはフィールドとして非常に強い関心を持っています。さらに3年間のコロナ禍に多くの方が生きづらさを感じ、精神的な不調から回復できない学生もいます。コロナは子どもから高齢者にまで相当な負荷をかけたと思います。そこからの再生を目指

(会議の経過)

す来年度が重要です。これまでとは異なる価値観や方法も問われることとなります。
地域のリーダー層が高齢化していますが、一方で埋もれた人材がいると思います。
10 のエリアで行政と社協が住民懇談会を開き、コロナからの再生へ侃々諤々の意見
交換をしていただきたいと思います。福祉というと、特別視されがちですが、自分事
として考え、多摩市と社協には来年度、住民の声を拾い上げる取り組みをお願いし
たいと思います。
ありがとうございました。

以上